

2019年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業 日本フィルハーモニー交響楽団「被災地に音楽を」  
「音楽による東北地方の復興支援プロジェクト」報告会



©山口敦

東北の夢プロジェクト2019報告会&シンポジウム  
文化芸術の“晴れ舞台”による  
コミュニティ復興と活性化



東日本大震災からまもなく9年が経ち、被害の大きかった東北三県の沿岸部はそれぞれ異なる様相を呈してきています。私たちはこれまでの活動を通じて、文化芸術活動を通じたコミュニティの復興と活性化が、この地域の未来への鍵になると考えています。これから3年にわたり、東北三県各地の状況を踏まえて、芸術文化活動のコミュニティへの影響や、芸術団体と地域コミュニティとの連携のあるべき姿について考えていきます。今回はその第一弾として、2019年に日本フィルが被災地の子どもたちの“晴れ舞台”として岩手県盛岡市で開催した「東北の夢プロジェクト(旧称:東北「夢」プロジェクト)」の報告と検証を踏まえて、震災後に東北で活動するプロデューサーの坂田雄平氏らを迎え、これからの岩手県にとってどんな文化芸術活動が望まれるか、関係者が夢を持って語っていきます。

日時 令和2年2月22日(土)  
開会 午後2時(午後4時30分 終了予定)  
開場 午後1時30分  
会場 慶應義塾大学三田キャンパス G-Lab

登壇者 坂田雄平(宮古市民文化会館館長補佐、プロデューサー)  
佐藤允治(岩手県立宮古高校吹奏楽部顧問)  
川村公司(岩手日報社常務取締役編集局長)  
船場ひさお(岩手大学客員教授)  
玉村雅敏(慶應義塾大学総合政策学部教授 SFC研究所 所長)  
落合千華(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 研究員)  
進行 別府一樹(日本フィルハーモニー交響楽団)

内容  
・2019年度文化庁委託事業報告  
・調査研究報告  
・ゲスト発表「宮古市の市民劇と震災後の文化施設の状況」坂田雄平  
・ディスカッション



申込み

お名前、連絡先、人数とご所属をご明記のうえ、以下の方法でお申し込みください。

Email [musicforest@japanphil.or.jp](mailto:musicforest@japanphil.or.jp)

Fax 03(5378)6161

締切: 2月20日(木) ※定員100名

※定員に達し次第締め切らせて頂きます。

問合せ 日本フィルハーモニー交響楽団

Tel 03(5378)6311 [担当: 音楽の森 及川]

# 東北の夢プロジェクト2019 報告会&シンポジウム

## プロフィール

**坂田雄平** 宮古市民文化会館館長補佐・プロデューサー

盛岡市出身。1980年生まれ。桜美林大学を卒業後、2003年より同大学舞台芸術研究所チーフとして付属劇場の立ち上げに携わる。07年より一般財団法人地域創造で演劇事業や調査研究事業を担当。12年から福岡県の北九州芸術劇場で演劇・ダンス事業のほかフェスティバル事業、領域横断型プロジェクトを担当。現在は、NPOいわてアートサポートセンターにて宮古市民文化会館館長補佐・プロデューサーを務めるほか、岩手県文化芸術コーディネーター、三陸国際芸術祭プログラムディレクター、(一財)地域創造の現代ダンス活性化事業コーディネーターなどとして、県内外を問わず舞台芸術の企画や運営に携わっている。

**船場ひさお** 岩手大学 客員教授/フェリス女学院大学音楽学部 非常勤講師。博士(芸術工学)。

九州芸術工科大学(現九州大学)芸術工学部音響設計学科卒業後、千代田化工建設などにおいて様々な空間の建築音響、騒音制御、音環境デザイン業務に従事。現在は音環境のユニバーサルデザインを専門とし、子どもや高齢者をはじめすべての人々にやさしい音環境の創出に向けた研究・実践を行っている。また大分、岩手、横浜をフィールドに、音の視点からのまちづくりや誰もが楽しめる音楽イベントのデザインなども手掛けている。

**玉村 雅敏** 慶應義塾大学 総合政策学部教授 SFC研究所所長

慶應義塾大学総合政策学部卒業。同大学院政策・メディア研究科博士課程、千葉商科大学助教授等を経て、現職。博士(政策・メディア)。専門分野は、公共経営、ソーシャルマーケティング、評価システム設計など。地域活性化伝道師(内閣官房)、地域力創造アドバイザー(総務省)、JICA業績評価アドバイザー、横須賀市政策研究専門委員、天草市・鈴鹿市・市原市・大崎町・大山町・東川町・鹿児島相互信用金庫などのアドバイザーを兼務。自治体の地域戦略や地域ブランドづくり、価値共創戦略、企業のソーシャルマーケティング戦略やCSV戦略の立案・評価、社会インパクト評価、SDGs推進、生活価値や幸福度の評価手法開発などのシステム設計を手がける。

**落合千華** 慶應義塾大学政策・メディア研究科研究員、ケイスリー(株)取締役

社会的・環境的成果の可視化を通じた組織・事業のマネジメント支援に専門に取り組む。特に文化芸術を通じた子ども支援、コミュニティ活性の研究・支援に従事。中央省庁、地方自治体、企業、NPO等のコンサルティング事業に参画経験多数。芸術文化関連では、文化庁、厚生労働省、可見市等地方自治体、地方オーケストラ、劇団、劇場等への支援実績有。慶應義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程在学中。慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。

## 岩手県立宮古高等学校吹奏楽部

1957年創設。1964年に第1回定期演奏会を開催、1966年からコンクールへ参加するようになる。これまでに57回の定期演奏会を開催。プロの演奏家として活躍するOBも多く、5年に1度合同ステージを開催し、地域とのつながりを大切にしながら活動している。近年では、全日本吹奏楽コンクール東北大会、全国高等学校総合文化祭信州総文祭吹奏楽部門に岩手県代表として出場。今年度は、8月に日本フィルハーモニー交響楽団との共演、1月に行われた全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会ではクラリネット8重奏が県代表として選出された。

## 岩手日報社

岩手県盛岡市の本社、県内外の支社局の取材網による幅広い情報をもとに朝刊を発行。政治経済、教育、文化、スポーツ、そして地域の課題や個人・各種団体の活動など、他分野にわたり報道する。東日本大震災・大津波で全県のライフラインが寸断する中、青森県の東奥日報社の協力で特別紙面の朝刊を発行し読者・県民に届けた。「命の軌跡～東日本大震災5年 一連の報道」は日本新聞協会の2016年度新聞協会賞編集部門・企画部門受賞、2017年3月11日に本紙掲載の広告企画「最後だとわかっていたら」は新聞広告電通賞受賞。

## 東北の夢プロジェクト2020公演予定

**岩手** 8月10日(月・祝) 会場:岩手県民会館

**福島** 8月22日(土) 会場:みんなのとうほう文化センター(福島県文化会館)

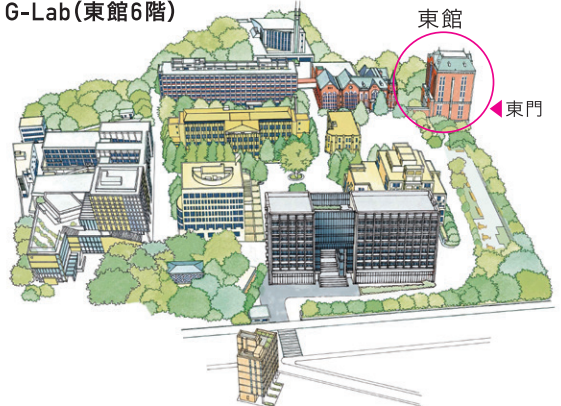
出演 角田鋼亮(指揮) 江原陽子(司会) スターダンサーズ・バレエ団 日本フィルハーモニー交響楽団

ゲスト (岩手) 岩手県立宮古高校吹奏楽部、伝統芸能団体(調整中)

(福島) 南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部 他

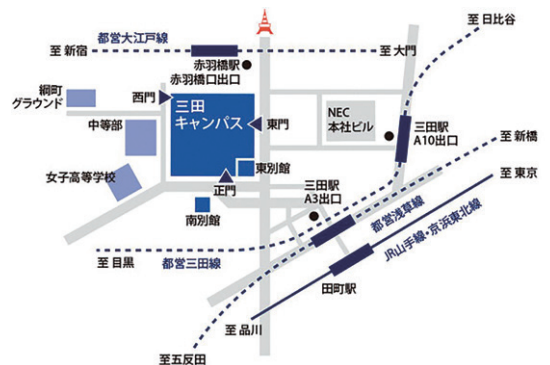


## 慶應義塾大学 三田キャンパス G-Lab(東館6階)



〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

東門脇の東館6階です。東別館とは異なりますのでご注意ください。



JR山手線・京浜東北線 田町駅下車(徒歩8分)

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車(徒歩7分)

都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車(徒歩8分)

